

「イノベーション探究Ⅰ」～地域再発見プログラム～第14回

1. 実施日

令和3年12月11日（土）1・2限

2. 場所

1棟多目的室、図書館

3. 対象

グローバル科1年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 6組 山中 脩平・中村 啓介、7組 金本 瑞穂・矢野 和久

5. 内容

研究計画書作成・文献調査・スライド作成

（1）全体説明

前回の活動を反芻しながら研究計画書の作成及びそれを元にした発表スライドの完成に向けて、活動の続きに取り組むことを説明した。

（2）研究計画書作成・文献調査・スライド作成

発表スライドはPowerPoint またはKeynote またはロイロノートで作成する。それぞれのメリット及びデメリットを以下の通り説明したが、後日、ソーシャル・インテリジェンスでの評価がしにくい等の理由で、全員にPower Pointでの提出を指示した。

Power Point：○Teamsで共有しやすい。メンバーで同時編集が可能。連動授業のソーシャル・インテリジェンスでCAI教室を使用し、パソコン上でも作業がしやすい。

×パソコン上では可能な操作がiPadではできないこともある。

Keynote：○生徒一人一人が持つiPadでの操作性が良く、Airdropによる共有も容易である。アニメーションやトランジション等の動きが洗練されている。

×Teamsで共有できるが共同編集はできない。

ロイロノート：○パソコンでも編集できるので、連動授業のソーシャル・インテリジェンスでも編集しやすい。メンバー間で共有が容易。

×共同編集ができない。アニメーション等の機能がない。

6. 学び

各探究チームは研究計画書から発表用スライドに落とし込む中で、お互いの進捗状況を確認しあいながら探究内容の理解を深めることができ、さらに問題点も明らかになった。

7. 次回への課題

冬期休業中に研究チーム Teams 内のチャンネルを利用して連絡を取り合いながら進めてくる。

8. 授業の振り返り

各自の進捗状況を確認しあいながら、研究計画書から発表用スライドを作成していく中で、完成へ向けての見通しを立て、効果的な発表についてチームで協働して模索した。